

卒論発表後の研究進捗と投稿予定

福井 克法

春休みの予定

- 卒論の手法で追加実験
 - 手法評価用のプロジェクトの追加
 - 評価を行うための、検索語の抽出手順の見直し
 - ▶ tf-idfとdf値を利用する以外
- 研究目的と支援対象の定義のためのサーベイ

追加プロジェクト

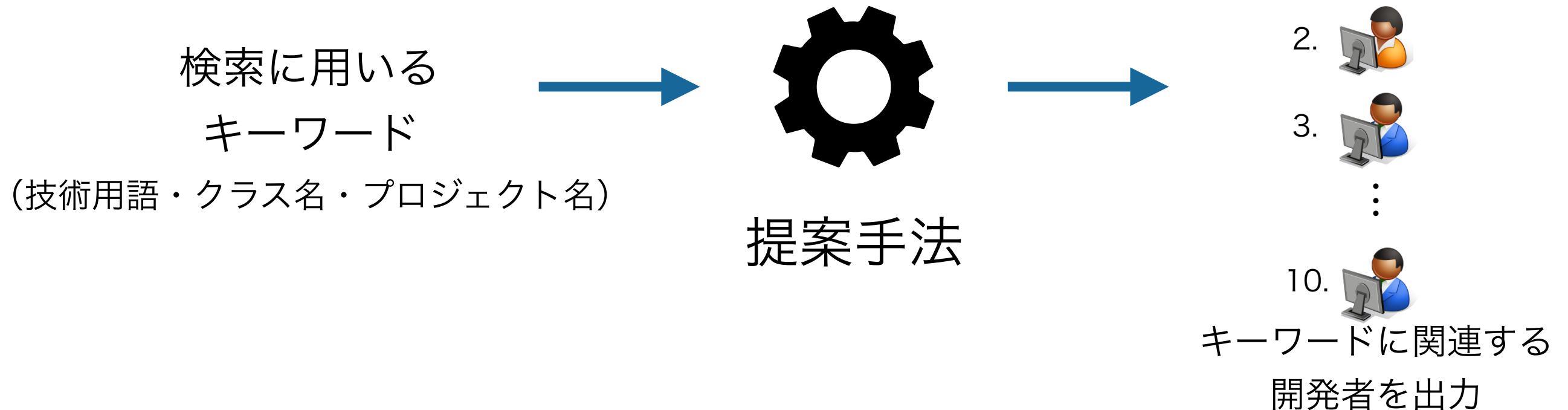
- 当初の予定
 - GNUプロジェクト
 - Eclipseプロジェクト
 - ▶ googleグループへの移行, アーカイブの掲載形式により上手く取得できず・・・
- 実際の追加プロジェクト
 - Apache httpdプロジェクト
 - ▶ 大規模なプロジェクトであり, 他の研究でも多く利用されている
 - ▶ 取得期間：1995年~2018年2月

春休みの予定の進捗

- メールデータの取得
- 取得したメールデータを用いたモデルの作成 **完了**
 - トピック数100, 500, 1000
- 手法の評価
 - 開発者を検索するための検索語の抽出
 - 検索できた開発者の分析

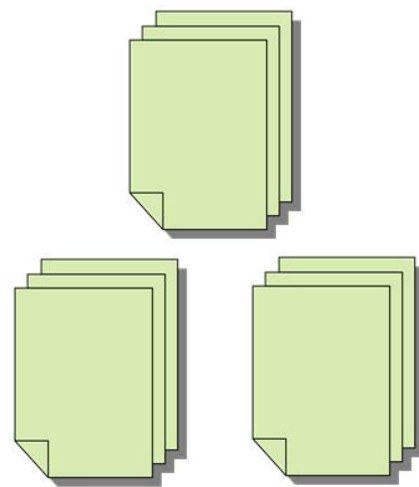
提案手法の概要

- メーリングリストデータには，開発者がこれまでに関わった開発に関する用語が含まれると考えられる
 - 開発者が使用した用語を，開発者のこれまでの開発経験と捉える

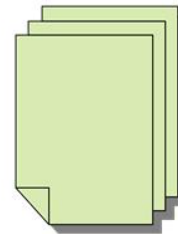


検索語の抽出

- 手法の評価を行うための検索語を抽出する
 - 検索語と検索された開発者の関係を確認するため



メールデータ



tf-idfにより語を抽出

ランダムで投稿を抽出
または
特定の開発者1人の投稿を抽出

春休みの予定の進捗（サーベイ）

- サーベイ

- 研究目的

- ▶ 分散した大規模なソフトウェア開発において、要求を実現するためのタスクに関係のある開発者を特定しプロジェクトにアサインしたい[1]
 - ▶ ソフトウェア開発の規模が大きくなると、より多くの技術の専門知識が必要であり、開発を行う最良の開発者は誰かを迅速に特定したい。最良の開発者が誰かを自動で特定したい[2]
 - ▶ プロジェクトマネージャーが開発者をプロジェクトにアサインする手助けと開発者が共同作業をすべき開発者を特定する手助けをする。 [2]

[1]Who is the Expert? Combining Intention and Knowledge of Online Discussants in Collaborative RE Tasks

[2]Automatic Extraction of Developer Expertise

論文投稿予定

- FOSE（ソフトウェア工学の基礎 ワークショップ）
 - フルペーパー
 - 締切:2018年 6月 29日(金) 17:00